

Book Review Corner

ブックレビューコーナー



① 倉島長正 著

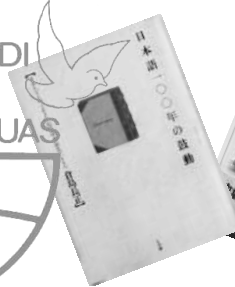
『日本語一〇〇年の鼓動』

(小学館)

明治開国期、一大国語辞典の編纂が急務と考えられていましたが、日本語は表記法すら模索期でした。大型国語辞典の編纂は、様々な国語学者の苦心の結果なされたものです。

本書では、『言海』や『大日本国語辞典』などの大型国語辞典が作成された過程が、日本語の環境や国語学者の努力に触れながら解説されています。私たちが普段使っている国語辞典や日本語の歴史がよくわかり、一読をお勧めします。

813.1-Kur (S.I.)



② 佐川年秀、阮亮、青峰 著

『はじめの上海語』

(明日香出版社)

上海は、成長著しい中国の中心的な都市の一つです。日本とのビジネスも多くなっており、上海語でのコミュニケーションも重要度を増してくると思われます。

本書は、上海語で簡単な会話をできるようにするための入門書です。上海語と共に標準語である北京語も紹介されています。上海語と標準語の違いを比べることができ、中国語理解に大変役立つ書です。

828.2-Haji (N.I.)

③ リシャット・ムラギルディン 著

『ロシア建築案内』

(TOTO出版)

極東からヨーロッパまで広がる大国ロシアには、120以上の民族がそれぞれの文化を持って暮らしています。ソ連時代には外国人に対して閉ざされていた都市も、ソビエト崩壊後はヨーロッパ並とはいかないにしても、以前に比べれば容易に訪れることができるようになりました。

ロシアの都市といえば、まずモスクワやサンクト・ペテルブルクが思い浮かびますが、その他にも魅力的な街や村が数多く存在します。本書は、ロシア全土の主要都市に点在する建築を網羅的に紹介した画期的な本です。

523.38-Mul (Y.N.)

④ 加藤裕子 著

『食べるアメリカ人』

(大修館書店)

以前に当コーナーで林望の『イギリスはおいしい』を紹介したことがあります。アメリカも似たような状況だと内心思っていたところ、本書が出ました。アメリカ人の食に対する考え方が理解できます。food(犬の食事はdog food!)という単語をよく使うのが気になっていたのですが、それも判りました。「食べ物」という側面から、アメリカに迫ってみませんか? それにしても私がイギリスでホームステイ中に出された料理は、どれも大変美味でした。さて、アメリカの家庭料理は?

383.8-Kat (T.F.)